

**シルクのまちづくり市区町村協議会  
平成30年度第2回幹事会・第2回研修会 概要**

1. **開催日時** 平成31年3月15日（金）14時00分～16時00分
2. **開催場所** 大日本蚕糸会 蚕糸会館6階 会議室  
（東京都千代田区有楽町1-9-4）
3. **出席者** ○11 会員自治体18名  
（結城市1名、小山市2名、富岡市2名、十日町市1名、  
富士吉田市1名、岡谷市3名、駒ヶ根市1名、長浜市1名、  
京丹後市1名、西予市3名、鶴岡市2名）  
○オブザーバー3名  
（経済産業省関東経済産業局2名、農林水産省生産局1名）  
○協賛団体3名（大日本蚕糸会3名）  
○事務局サポート1名（NPO法人日本染織文化振興会1名）
4. **研修会講師** シルクのまちづくり市区町村協議会 顧問  
クリエイティブディレクター／ファッションジャーナリスト  
清水 早苗 氏

**5. 幹事会の経過と結果概要**

■開会（進行：鶴岡市 森屋課長）

■協議事項

1. 平成30年度事業報告について

資料に基づき、事務局から説明（連携事業については、一部結城市及び関東経済産業局より説明）

⇒ 異議なし

2. 役員体制について

資料に基づき、事務局から説明

- ・未定であった監事の近畿経済産業局管内自治体については、長浜市が就任。
- ・平成31年度は岡谷市が会長。また、関東経済産業局管内自治体の十日町市が新たに監事に就任する。その他、資料のとおり。

⇒ 異議なし

■報告事項

1. 全国シルクのまち情報誌「知・る・く（第10号）」の発行について

- ・HPに掲載するのでダウンロードしてご覧いただきたい。

<https://silktown.jimdo.com/%E6%83%85%E5%A0%B1%E8%AA%8C-%E7%9F%A5-%E3%82%8B-%E3%81%8F/>

## 2. 平成31年度事業について

岡谷市より説明

- ・総会は8月21日に開催予定。その他、資料のとおり。

### ■各産地の状況報告や取組紹介など

#### (1) 会員自治体より

シルクのまちづくり市区町村協議会のホームページ内に掲載しました「平成30年度第2回幹事会各団体からの資料」をご確認ください。

#### (2) 大日本蚕糸会より

- ・2021年度からの新しい助成事業のあり方を検討するため、4月に検討会を立ち上げる。市区町村との連携を強化することが必要だと考えており、どういう連携ができるか等、意見交換を行いたい。それを踏まえて、今後の支援策を検討する。

#### (3) 日本染織文化振興会より

- ・他団体の催し物などチラシを積極的に配布しているので、活用いただきたい。

#### (4) 農林水産省生産局より

- ・日本の養蚕業の復活・活性化を目指すための方策を検討中。自治体と意見交換を行いたい。また、農水省としての方針が定まったらお知らせする。
- ・11月に、「国際養蚕委員会」の大会が日本で開催される。つくばを中心とし、現地視察ツアー等も行う。その場で、日本のシルクに関する新技術・伝統的技術などを紹介する展示ブースを設けたいと考えているので、協力いただきたい。

### ■閉会

## 6. 研修会概要

### ■テーマ 「2020オリパラ」は大きなチャンス」

○清水さんのこれまでのお仕事について（詳細については、研修会資料のとおり）

- ・NHKスペシャルとしてコムデギャルソンの川久保玲さんの創造性を探る番組を作った。川久保さんが、日本の織機が廃棄されており、ものづくりができなくなっているとおっしゃっていたのが印象的。
- ・日本の繊維・ファッションの優れていることを国内外に発信するために、経済産業省の支援のもと、中小機構発行の「SHINKA-KA(しんか)」という写真集的な書籍を作成した。染色や製織などのものづくりの現場を、日本の著名な写真家に撮影してもらうだけでなく、ファッション撮影によっても紹介。衣服の価格の理解を促すことが重

要と考え、美しい写真によってもものづくりのプロセスも伝えた。

○最近のファッションについて

- ・最近のファッション業界は厳しい。特に若手デザイナー。価格が相当大きな問題となっている。
- ・ファッションは楽しいものだと伝えたくて、Facebook や Instagram で発信している。今やファッションはすべて SNS の中にあり、ここ 1～2 年で紙媒体より強くなった。「繋がる」ということがキーワードとなっている。
- ・各々の振興も大切だが、一丸となってシルクの良さを伝える大きなムーブメントや流れを作っていくことが大事。オリパラや大阪万博など、大きなイベント・お祭りに乗じて発信。生活者の感情に訴えることが大事で、見たときに「カッコいい」「センスがいい」といったことは、若者に響く。

○オリパラに向けた企画について

- ・「2020オリパラ」に向けて、清水さんの企画を、特別にお話しいただいた。

★清水さんの幅広いお仕事から、現在のファッション業界について、また今後の振興策について等、非常に面白いお話を伺え、勉強させていただきました。産地の可能性を感じることができました。

【幹事会・研修会の様子（大日本蚕糸会 蚕糸会館 6階 会議室）】

